

表題	無核系大橘「おおたけ」の特性	機関	農業研究センター 果樹研究所
<p>概要： 無核系大橘は大橘に比べて自然受粉での結実率が高く、他品種の花粉が入らなければ種子はほとんどみられない。しかし、人工受粉を行うと大橘と同程度の種子が入る。また、樹の特性は大橘とほとんど変わらないが、果肉は柔軟多汁でクエン酸はやや低い傾向にある。</p>			

研究のねらい

大橘（パール柑）は、地域特産果樹として栽培が広まりつつあるが、自然受粉では着果率が低く、果実肥大も不良で収量が安定しないため人工授粉を実施しているが、多数の種子が入るため消費拡大のネックとなっている。

そこで、宇土郡三角町で発見された大橘の新系統の特性を解明し、消費の拡大をねらった無核果実の安定生産を図る。

大橘 = 「おおたちばな」と読む

研究の成果

大橘の新系統「おおたけ」は、以下のような特徴がある。

1. 樹体の特性は大橘とほとんど変わらない。
2. 果実の大きさ、果形及び果実の外観も大橘とほとんど変わらない。
3. 果実品質は、大橘に比べて果肉は柔軟多汁でクエン酸はやや低い傾向にあり、食味はよい。
4. 人工授粉を行うと、果実肥大は良好となるが、種子が大橘と同程度入る。
5. 自然受粉の結実率は大橘に比べて高い。また、他品種の花粉が入らなければ種子はほとんどみられない。
6. 人工授粉の労力と受粉用花粉の準備にかかる労力をあわせると 10 a 当たり 5 ~ 7 日程度の管理労力の省力化が可能である。

普及上の留意点

無核系大橘は、他品種の花粉が入ると種子が入りやすいため、他品種との混植を避ける。

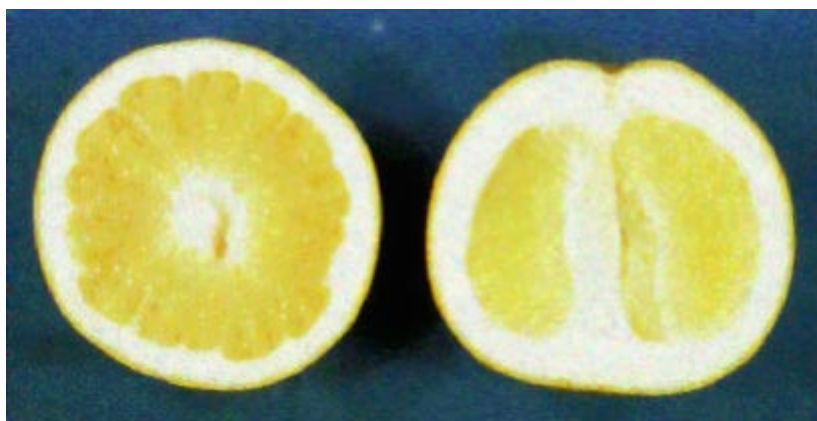


表1 無核系大橘の樹体特性

系 統	春枝長	節間長	葉の大きさ			花序の 形成	花 弁 の 形	花粉の 多少
			葉身長	葉身幅	葉面積			
	cm	cm	cm	cm	cm ²			
無核系	23.6	2.15	12.2	7.1	61.94	総状	紡錘形	中
大 橘	23.3	2.17	12.9	7.0	64.18	総状	紡錘形	中

調査月；平成9年4～5月

表2 無核系大橘の果実特性と品質

系 統	1果重	果 形 指 数	油胞の 大 小	果面の 粗 滑	じょうのう 膜の硬さ	さじょう の 形	さじょう の 大 小	果 肉 歩 合	屈折計 示 度	完 全 種 子 数	クワ酸
											g
無核系	448.3	115.5	中	中	中	細長	大	60.9	11.9	1.06	0.0
大 橘	460.6	108.6	中	中	中	細長	大	62.9	11.0	1.18	70.1

調査日；平成10年2月9日

表3 無核系大橘の着果率と種子数

場 所	系 統	処 理	着果率		種子数	
			7/12	1果重	完 全	不 完 全
現 地	無核系	甘夏	76	508.0	65.8	6.5
		除雄	16	217.9	0	0
		自然	44	239.3	2.1	0
	大 橘	甘夏	80	347.5	65.0	2.5
		除雄	2	-	-	-
		自然	22	202.1	38.5	3.0
果 研	大 橘	甘夏	68	459.5	50.8	8.1
		除雄	0	-	-	-
		自然	18	418.1	42.3	4.0

注) 調査日；平成7年1月26日